

令和元年度 第2回進路対策委員会 議事録

日 時 令和元年12月14日(土) 13:30～14:20
会 場 ホテルニューオータニイン札幌 3階 紅葉
出席者 8名／8名

※担当役員 森政徒副会長、山木傑監事
※事務局 井村美彦事務局長

欠席者 なし

□委員長挨拶 虎野温委員長

□全国高P連第2回進路対策委員会の報告(森政徒副会長)
台風のため中止となった旨報告があった。

□議 事

1 第1回委員会(7月27日)以降の進路対策委員会関係の活動

令和2年3月高等学校卒業予定者の雇用促進及び高校生インターンシップ等の協力要請

10月23日 新井田寛会長・藤村誠高校教育課長が関係団体を訪問
北海道中小企業家同友会、北海道商工会議所連合会
北海道経済連合会

(10月15日 道教委で訪問 北海道建設業協会、北海道商工会連合会
北海道中小企業団体中央会)

8月8日～9日 山本美加副会長・石狩総合振興局・石狩教育局が管内団体を訪問

- ・ 求人数が回復し人手不足感もあることから、インターンシップや受験前職場訪問などに関しての協力要請も実施した。今年度からこの要請を道教委や校長協会と連携しながら、支部単位でも進めていく機運があり、8月8～9日にはその先駆けとして石狩管内を対象にして実施された。

2 単Pの実践の研究

- ・ 北見北斗高校「私の選んだ仕事 そのきっかけと喜び」(保護者による職業ガイダンス文集)
PTA会員やOBOGが生徒に職業や労働の意味などについて話す取組は少なくないが、冊子にまとめる取組は寡聞であり、効果的に活用されるのではないかと。
- ・ 帯広柏葉高校「柏葉塾」(PTAや卒業生による職業講話)
これまで長期間にわたり、多様な職種の講話が実施されており、生徒に進路に向けての意欲を喚起できる取組であると思われる。実施方法の工夫など、他の学校の取組についても情報を収集したい。

3 今後の進路対策委員会の活動に関する意見交流

- ・ 北見北斗高校や帯広柏陽高校のようにPTA会員やOBOGが子ども達のために努力することは大切であり、道高P連においても今後検討してはどうか。
- ・ 高校卒後3年時点での離職率の統計をもとに意見交換を行った。人間関係の問題などが主になっていると一般的には流布されているが、そのほかにも様々な理由があり、また、職業学科においても就職する生徒の割合には違いがあることについても話題となった。

□閉 会

令和 年 月 日

議 長(委員長) _____ 印